

## 第19回青少年のための 科学の祭典・日立大会に出展しました。

令和元年12月10日

去る12月1日（日）に、日立市マールホールで「青少年のための科学の祭典・日立大会」が開催されました。

この科学の祭典は、全国約100箇所で開催され、会場には小中学生を対象とする科学（理科）の実験や工作等のブースが出展され、子供たちが自分の興味があるブースに自由に参加できる催しです。当センターからは日立大会に、「樹木の種子からクリスマスキャンドルを作ろう」というブースを出展しました。

日立大会は4,100人以上の総来場者となり、当センターのブースでも、用意していた整理券の配布が午前中に終了となるほどの人気で、およそ120名の子供たちが製作体験をしました。

キャンドル作りでは、樹木（樺）の種子のまわりの種皮を割り実を取り出す作業や、実を搾油機にかけて油を採る作業が大変なようでしたが、参加してくれた子供達には、樹木の種子から油が採れること、昔はこのようなして採った油を灯りとして利用していたこと、たくさんの種子から搾り採れる油はほんのわずかであることなどを知ってもらうことができました。

また、お子さんの興味をどのように伸ばしていけば研究者になれるのか、などと研究職の職員に質問されている親御さんの姿も見られました。

今後もこのようなイベントへの出展を通じて、子供達に樹木や当センターの業務等に興味を持ってもらい、将来の林木育種に携わる研究者等を目指す意識を芽吹かせることができるような体験の場を提供していきたいと考えております。



板を叩いて樺の種皮を割って実を取り出します



取り出した実を搾油機にかけてキャンドルの油をとります



たくさんの子供たちに参加してもらいました

（遺伝資源部）